

流路及びカラム

ケース	現象	原因	対策
A	圧力の上昇	プレカラムの目詰まり	プレカラムの交換
		カラム圧の上昇	直列に数本つないだ場合1本ずつ圧力を測定し悪いカラムを探し修理を依頼する。
		ポンプの流量設定を誤った場合	カラムに適応する流速にする。
		配管流路内の詰まり	使用する溶媒や環境により配管の内部が錆る事があります。流路の順を追って洗浄する。 注) 検出器内の場合は当社営業マンにご連絡下さい
		温度低下による粘土上昇	室温が高くなると平常に戻る
		サンプルの粘土による上昇	サンプルの粘土や前処理を適切にする
B	圧力低下や流量の減少に伴う	ポンプの流量設定ミス	正しい設定をする
		ポンプシールより洩れ	ポンプシールの交換
		チェック弁吸入側の気泡の吸い込みによるもの	特にリサイクル中など気泡が発生しやすくなります。溶媒を脱気した後ポンプパージを行う。
		コネクターからの洩れ	洩れ箇所の点検修理
C	カラムの分離不良	試料濃度が高すぎる	濃度を下げる
		試料によるカラムの汚染	検出器のドリフトを伴う場合がある
		カラム充填物内に生じた空洞化等によるカラムの劣化	カラムを1本ずつ単独で接続し理論段を点検する不良の場合カラムを修理又は交換する。